



9/13(木)  
9/15(土)

## アウグスブルクから長浜へ親善交流

姉妹都市ドイツ・アウグスブルク市のヤコブフッガー・ギムナジウム校の中高生が、本市を訪問されました。初日は、田根・上草野小学校で子どもたちと一緒に給食するなど交流を深めておられました。2日目は、孤篷庵で日本庭園を觀賞された後、茶道を体験されました。生徒の一人は「お茶を飲む時の一つ一つの動作に意味があることを知り、日本文化の奥深さを感じた。」と話されていました。



9/16(日)

## 日本の家庭料理づくりで国際交流

市内在住の外国人の方と交流を深める料理づくりのイベントが、国際文化交流ハウスGEOで開催されました。この日は、ソーセージ、鮮魚等を使って自己流の手巻き寿司作りに挑戦され、実習の後、自分たちで作った手巻き寿司を食べながら、国籍を問わず参加者全員で交流を深めておられました。このイベントは、いろんな国の食文化を理解することで国際交流を図るもので、今後も開催される予定です。

# うえるがむ + ながはま ⑨

長浜市に住んだり、活動したりしている外国出身の方を紹介するコーナー。



三浦マルコスさん  
(ブラジル)

## ずっと長浜で活動していきたい

市民体育館で週2回、柔術の道場を開催し、いろんな国の人と練習をされている三浦マルコスさんにお話をお聞きました。

○日本に来られたのは 13年前の1994年です。

○長浜の印象は

お店がたくさんあり、スポーツが出来る環境も整っているので、とても住みやすいところだと思います。また、長浜は外国人も多いし、みんなやさしいので、とても好きです。

○柔術を始められたきっかけは

総合格闘技の試合で、柔術をやっている小さな選手が、大きな選手に勝ったのを見て、やってみようと思ったのがきっかけです。また、ちょうどそのとき柔術を教えてくれる人がそばにいたので、すぐに始めることが出来ました。



10月と11月に愛知県で行われる大会に向け、いろいろな技を練習中

○将来の夢は

競技人口が増えると切磋琢磨して強くなっていくので、柔術が出来る施設や競技者を増やし、大きなチームをつくっていきたい。また、長浜が好きなので、永住も考えながらここで活動していきたいと考えています。

お断り：先月号のこのコーナーで、極真空手の道場が彦根市しかないとの発言がありましたが、毎週木曜日午後7時30分から、長浜市民会館で開催されていますので、ご紹介します。(連絡先：極真会館河西道場 近藤さん (090-3486-9444)まで。



8/31(金)  
9/1(土)



## 最高の舞台上で完全燃焼！

さわやかな秋空の中、神照運動公園と浅井文化スポーツ公園において、「長浜あざいあっぱれ祭り」が開催されました。県内外の30チーム937人の踊り子が、オリジナリティあふれる踊りを披露。ファイナルに残った13チームのうち、あっぱれ大賞に輝いたのは、地元チームの「近江紅天女」(写真下)。夜空に煌々と輝く「月」をテーマに、総勢45人の踊り子の息がぴったりあった華麗な踊りに、詰め掛けた約10,000人が魅了されていました。



9/9(日)

## みなさまのご協力に感謝

「湖北長浜1000人献血運動」が、長浜港周辺で開催されました。400ml・成分献血には、178人もの方にご協力いただきました。会場では、様々なイベントが催され、終日ご家族連れで賑わっていました。



このコーナーは、市民のみなさんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。  
あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画調整課 広報広聴グループ(☎6504)までお知らせください。



9/9(日)

## 金太郎の里で相撲大会

秋晴れの中、松の岩公園グラウンドで「西黒田金太郎相撲大会」が開催されました。幼児から小学生までのかわいい力士たちが、家族・友達・近所の人たちの声援の中、金太郎のように力強い取り組みを披露してくれました。



9/13(木)

## 祖父母参観で肩たたき

敬老の日を前に、市立さくらんぼ保育園で「祖父母参観・ふれあいの集い」が行われました。「祖たきあひなごら、おばあさん、おじいさん、楽しいひとときを過ごされたい。」というテーマで、祖父母と子どもたちが一緒に肩たたきを行いました。